

NEWS RELEASE

新高松データセンターPowerico(パワリコ)の拡張工事着工 ～BCP対策やクラウドビジネスを加速させる拠点として、西日本最大に～

四国電力グループの株式会社STNet(社長:溝渕 俊寛、本社:香川県高松市)は、新高松データセンターPowerico(パワリコ)において、既存建物(「Powerico-N」(以下、N棟))の南側に新しく「Powerico-S」(以下、S棟)を建設することとし、5月28日に着工いたします。

データセンター事業については、近年のデータ利用社会の進展に伴って、企業、法人毎のデータ保管量の増大が続くなかで、大規模な災害等に備えて安全なデータ保管場所としてのデータセンターへの需要は依然、拡大傾向にあります。また、ICTサービスの需要の高まりを受け、クラウドビジネスは、企業ニーズを支える基盤としての活用が急速に進んでいます。

パワリコは、国内最高水準の機能と堅牢性を備え、さらに地震等の自然災害の少ない香川県高松市内陸部に位置していることもあり、これまで四国内はもとより、首都圏・関西圏など四国外のお客さまからも、多くのご契約をいただいております。今後もお引合いに対応できるように、この度S棟を新たに建設することいたしました。

パワリコS棟は、既存のN棟と同じく、耐震性に優れた基礎免震構造を有し、日本のデータセンター設備基準としては最高レベルである「ティア4」を満たすハイスpekデータセンターで、かつ高い電源供給能力を備えています。既設のN棟と合わせると、合計2,000ラックの収容が可能となり、総延べ床面積は、約22,000㎡となります。これは一般的にハイスpekデータセンターとして求められている要素(JDCC※1 ティア4準拠かつ基礎免震構造)を満たすデータセンターとしては、西日本エリアで最大となる予定※2です。

当社は、大規模データセンターを始めとするICTサービスのご提供を通じて、日本国内、海外企業の事業継続およびビジネス拡大に貢献してまいります。

※1：JDCC：日本データセンター協会

※2：当社調べ

以上

(参考) 新高松データセンター概要 (Powerico-S)

区分	仕様		
所在地	香川県高松市		
工事着工	2018年5月28日(予定)		
サービス開始	2019年10月(予定)		
建築面積	2,800㎡		
延床面積	約11,000㎡	既設N棟と合わせた 総延床面積	約22,000㎡
建物構造	鉄骨造・基礎免震構造		
階数	地上4階		
ラック数	1,000ラック	既設N棟と合わせた 総ラック数	2,000ラック
準拠設備基準	FISC※1、JEITA※2、JDCC※3 ティア4		
完成イメージ図	<p>今回拡張する Powerico-S</p> <p>※イメージにつき実際とは異なる可能性があります。</p>		

※1 財団法人 金融情報システムセンター「金融機関等コンピュータシステムの安全対策基準」

※2 社団法人 電子情報技術産業協会「情報システムの設備ガイド (JEITA ITR-1001C)」

※3 特定非営利活動法人 日本データセンター協会「データセンターファシリティスタンダード」

本発表に関するお問い合わせ先

株式会社STNet 営業本部営業推進部 (松下・木内)	[電話]087-887-2402 [Email]eigyo@stnet.co.jp [URL]http://www.stnet.co.jp
-----------------------------------	--

サービスに関するお問い合わせ先

株式会社STNet 営業本部	[電話]087-887-2404 [Email]eigyo@stnet.co.jp [URL]http://www.stnet.co.jp
-------------------	--